

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（横浜国立大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

令和2年度春学期は、学事暦を約1ヶ月遅らせスタートをした。その1ヶ月の間に遠隔授業に対応する準備を急ピッチで進め、具体的には、授業支援システムの増強やオンデマンドビデオサーバの新設、遠隔会議システムの導入など、教育インフラについても短期間で増強・整備を実施することができた。結果、5月からスタートした遠隔授業を無事に開始することができ、学生の学びを止めることなく、授業を開始することができた。

【学内限定で作成された遠隔授業関係報告書】

- ・2020春学期FDセミナー 遠隔授業動向 予備調査結果の速報（令和2年6月8日）
- ・2020春学期 遠隔授業に関する教員アンケート集計結果報告（令和2年10月21日）

令和2年度秋学期は、一部卒業等に必要な授業等は対面授業となったが、引き続き、遠隔授業中心で学生の学びを保証していった。なお、令和2年度秋学期以降は、学生へのアンケート調査結果からも対面授業の良さに加え、遠隔授業での良さや課題等が大学構成員に逐次、共有されていった。その例として、遠隔授業における「Good Practice」をまとめ、情報を発信していくなど、遠隔授業の質の向上にも引き続き努めていった。

【学内限定で作成された遠隔授業関係報告書】

- ・2020秋 学生プロフィール 遠隔授業の受講動向 集計・分析報告（令和2年11月26日）

令和3年度春学期は、大学の方針として対面授業を中心とした授業形態とした。ただし、例えば、大教室での講義形式が多い全学教育科目等では、遠隔授業を中心とするなど、対面と遠隔がそれぞれの科目の特性によって、授業形式を検討し、実施することとした。また、遠隔授業では、令和2年度のノウハウを十分に活かし、学生の満足度を満たすような努力を引き続き続けている。

【学内限定で作成された遠隔授業関係報告書】

- ・2021春：学生プロフィール 遠隔授業の受講動向 集計・分析報告（令和3年5月27日）

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

【ノートパソコンの貸与】

遠隔講義の開始にあたり、経済的事情によりパソコンを用意することが困難な学部学生を対象にノートパソコンを無償で貸与

【奨学金】

- ・ 学習環境整備支援奨学金(5万円) を598名に支給。
- ・ YNU E-SSUP 緊急生活支援奨学金(5万円) を400名に支給。
- ・ YNU E-SSUP 秋学期生活支援奨学金(5万円)を391名に支給。
- ・ 岡村・小長井記念財団 新型コロナウイルス感染拡大による生活困窮留学生支援金（10万円）を100名に支給。
- ・ YNU E-SSUP 春学期生活支援奨学金(5万円)を302名に支給。

【授業料等にかかる支援】

- ・ 授業料の引落日の延期
- ・ 授業料免除・徴収猶予に「新型コロナウイルス感染拡大に伴う家計急変」を加えた。
- ・ 新型コロナウイルスによる学資の支弁が困難となった学生の休学特例を実施。

【感染拡大防止対策】

- ・ 着席記録システム
- ・ サーマルカメラ、検温タブレットを導入
- ・ 食堂等に飛沫飛散防止アクリル板を設置
- ・ 体育館、課外活動施設、寮の自動水栓化
- ・ 課外活動施設の換気対策として、大型ファンを設置
- ・ 寮のインターネット回線増設
- ・ 対面授業における感染防止ガイドライン（学生用、教員用）の作成

【学習支援】

- ・ オンライン学習相談の実施（附属図書館）
- ・ 附属図書館における郵送サービスの実施

【食料等支援】

- ・ 2020/6/2 100名程度
- ・ 2020/6/3 100名程度
- ・ 2020/7/10 100名程度
- ・ 2021/7/1 180名程度

【メンタルヘルス】

「Be Fine!プログラム」

自宅で不安な思いを抱きながら遠隔授業に取り組んでいる学生にエールを送るプログラム。体操やストレッチの動画配信や大学キャンパス等の情報発信をSNSで行うもの。

【留学生の自主隔離にかかる支援】

新型コロナウイルス感染症への水際対策により、外国人留学生は、渡日後14日間はホテル等（大学の寮や知人宅は不可）で自主隔離する必要がある。この費用をすべて自己負担することとなる外国人留学生の、新たに日本で生活を始めるうえでの経済的負担を軽減するため、宿泊支援金を給付するもの。